

SHELLY-ANN FRASER-PRYCE

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Olympic Champion
- One of the Greatest Sprinters of All Time
- 2023 Laureus World Sportswoman of the Year



シェリー・アン・フレイザー・プライスは、ジャマイカの陸上スプリンターです。ジャマイカのキングストンで生まれたフレイザー・プライスは、2008年のオリンピックで有名になり、21歳のときにカリブ海の女性として初めてオリンピックで100mの金メダルを獲得しました。2012年には100メートルのタイトルを防衛することに成功し、オリンピックで2連覇を達成した3人目の女性となりました。

わずか5フィート3インチ(世界記録を樹立したスプリンターのウサイン・ボルト、彼女の有名な男性チームメイト)よりも1フィート以上短いフレイザーは、その小柄な体格と爆発的なスタートから「ポケットロケット」の愛称で呼ばれています。

2013年の世界選手権では、女子100メートル決勝で10.71秒で優勝しました。4日後、フレイザー・プライスは200メートル(22.17秒)で金メダルを獲得し、このようなダッシュダブルを獲得した3番目の女性になりました。彼女はその後、女子4×100メートルリレーで金メダルを獲得するためにジャマイカのチームをアンカーしました。シーズンの終わりに、国際陸上競技連盟は、フレイザー・プライスを2013年のウーマン・アスリート・オブ・ザ・イヤーに指名しました。

2015年の世界選手権では、フレイザー・プライスはジャマイカの4×100メートルリレーチームの一員として金メダルを獲得し、100メートルの種目では世界選手権の歴史の中で3つの100メートル金メダルを獲得した最初の女性となった。2016年のリオデジャネイロオリンピックでは、つま先の怪我をしのぎ、4×100メートルリレーで銀メダル、100メートル走で銅メダルを獲得しました。

2017年の初めに、フレイザー・プライスは妊娠していることを発表し、8月に男の子を出産し、翌年まで競技に復帰しませんでした。2019年の世界選手権では、100メートル走で4度目のタイトルを獲得し、金メダルを獲得した4×100メートルリレーチームのメンバーでした。

Fraser-Pryceは現在、女性の短距離走で最もサブ11を保持しています。総勢14名² World Athleticsは彼女を「彼女の世代で最も優れた女性スプリンター」と称賛しています。彼女は、NIKE² Team Visa² GraceKennedy & Digicelがスポンサーです。

Topics

- Motivation
- Sports
- Women